

埼玉連だより

平成 29 年 5 月 31 日

第
59号

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼 250-19 (本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

埼玉県弓道連盟

平成 29 年度を迎えて

会長 本橋民夫

去る 4 月 23 日の埼玉県弓道連盟評議員会において、会長職を継続するよう決議されました。今まで同様、皆様のご支援ご協力を賜りながら、微力ではございますが埼玉県弓道連盟の発展のために尽力させていただきます。

県連としては、2 年前に 2 支部そして今回 5 支部の支部長が交代されました。県連と各支部の連携をさらに強めて各種事業の推進を図りたいと思います。

さて、全日本弓道連盟を中心とした平成 29 年度の主要な事業に新たに加わるものとしては、前号で述べさせていただきました、第 1 回都道府県対抗弓道大会、全日本弓道選手権大会の地区予選の再開のほかに「第 3 回世界弓道大会(東京)の国内予選」及び「公認資格認定制度の準備」があります。

第 3 回世界弓道大会の関東ブロック予選は、9 月 3 日(日)に関東選抜選手権大会と兼ねて行い、6 名の関東代表選手を選出します。そして、日本代表の選考会は 12 月 16 日(土)に行われます。埼玉県弓道連盟からも世界大会の代表選手が出て欲しいと思います。

公認資格認定制度は、平成 30 年度から施行されます。この制度は、審査委員、審判委員、講師になって頂く方には、それぞれの資格を取っていただくということです。その資格は、「日本体育協会公認弓道指導員」以上の資格を有し、更に所定の講習会(講義及び実習)を受講し、検定試験に合格すると認定されます。中央の各種行事を担当される「中央委員」は、八段以上の方々を対象で、中央の研修会を受講する必要があります。各地連主催の各種行事を担当する



東日本高等学校弓道大会での矢渡

「地方委員」は、各地連が実施する所定の講習会を受講する必要があります。

平成 29 年度はその準備期間に当たり、埼玉県弓道連盟としても、公認資格付与のための講習会を開催するよう計画をしております。今後、埼玉県弓道連盟主催の行事において審査委員、審判委員、講師をお願いする予定の方々には、所定の講習会を受講して頂きます。別途ご案内させていただきますので、その際にはご出席の程よろしくお願い致します。

さて、ここ数か月、相撲界では横綱稀勢の里の話題で賑わいました。常にこつこつと努力を惜しまず稽古に励む姿勢と、正攻法で戦う姿勢は多くの相撲ファンを魅了しました。

一方、次のようなこともありました。昨年の春場所千秋楽で、結びの一番を迎えて大関稀勢の里は 12 勝 3 敗、横綱白鵬は 12 勝 2 敗でした。その結びの一番で白鵬は立ち合いで変化し、難なく日馬富士を破りました。千秋楽の結びの一番、優勝をかけた横綱同士の一番があっけなく終わって、観客はがっかりさせられました。

その後、私はこの相撲に関して1週間の間に新聞、雑誌で3件の記事に遭遇しました。

それは、脚本家内館牧子氏の「あさましい勝ち方」、元東京都知事石原慎太郎氏の「横綱の張り手」、元小結舞の海秀平氏の「日本人の高潔さを示す表現者」というものでした。3氏が異口同音に『その地位にある者には、その地位にふさわしい勝ち方がある。相撲の最高位にある横綱は手っ取り早い勝ち方で目先の一勝を勝ち取るような、あさましい勝ち方をしてはならない。』ということを書いていました。

弓道を学ぶ者にも通じることだと思います。

弓道を学ぶ目的・目標はそれぞれ異なっていて良いと思います。しかし、審査を受審する、段位を取得するとなると多少異なってくると思います。審査というものは、弓道教本第1巻に記されていることが出来ているかどうかということを確認することだと思います。そこには「射を行う態度」ということが記述されており、「恭」「敬」「愛」ということが求められています。それらは、段位、年齢、経験年数等により要求される深さ・重みというものは異なってくると思います。私は、技術の向上とともに、これらのことを深めていきたいと思っています。

平成 29・30 年度 埼玉県弓道連盟役員

役職名	氏名	支部	役職名	氏名	支部
名誉会長	松 沢 岳	県 北	支部長理事	森 正 一	県 南
名誉会長	小 澤 通 春	秩 父	支部長理事	古 泉 利 昭	県 央
会 長	本 橋 民 夫	西 部	支部長理事	池 谷 茂	西 部
副 会 長	飯 島 千 代 子	県 北	支部長理事	鳶 田 富 男	中 部
副 会 長	浅 野 有 三	県 央	理 事	町 田 文 利	秩 父
副 会 長	岡 芹 喜 行	県 北	理 事	若 林 武 司	秩 父
副 会 長	瀧 上 三 郎	県 南	理 事	中 島 勇	県 北
理 事 長 (兼)	浅 野 有 三	県 央	理 事	設 楽 謙 二	県 北
副 理 事 長	平 野 博 幸	県 央	理 事	村 上 節 子	東 部
常 任 理 事	浅 野 光 子	県 央	理 事	大 西 い づ み	東 部
常 任 理 事	鷹 巢 光 子	県 央	理 事	鹿 野 信 恵	県 南
常 任 理 事	齋 藤 安 次	西 部	理 事	豊 田 英 子	県 南
常 任 理 事	山 田 紀 之	高体連(西部)	理 事	山 中 茂 夫	県 央
監 事	岡 田 義 助	県 央	理 事	荒 井 涉	県 央
監 事	大 上 直 美	東 部	理 事	青 田 昇	西 部
会 計 理 事	廣 松 弘	県 央	理 事	永 島 英 男	西 部
会 計 理 事	松 本 信 一 郎	県 北	理 事	千 葉 公	中 部
支 部 長 理 事	石 田 徳 光	秩 父	理 事	那 須 充 良	中 部
支 部 長 理 事	高 橋 久 雄	県 北	理 事	丸 山 康 弘	高体連(秩父)
支 部 長 理 事	北 原 きい子	東 部			

埼玉県弓道連盟の一般会員構成 (平成 29 年 5 月 1 日現在)

年齢	段位 無断/ 級位	段位											計	
		初段	弐段	参段	四段	五段	錬士 五段	錬士 六段	教士 六段	教士 七段	教士 八段	範士 八段		
20才未満	14	12	7	3										36
20才~30才未満	38	48	67	49	23	6								231
30才~40才未満	42	41	67	52	43	27	4	6						282
40才~50才未満	76	60	140	92	91	50	12	6	1					528
50才~60才未満	69	49	142	135	132	79	30	19	15	3				673
60才~70才未満	59	56	146	161	148	126	71	63	24	5	2			861
70才~80才未満	16	16	56	94	94	125	60	50	32	11		3		557
80才以上	2	3	6	13	25	32	22	16	17	5	1	2		144
計	316	285	631	599	556	445	199	160	89	24	3	5		3,312

範士昇格祝射会・祝賀会

飯島千代子先生の範士昇格記念祝射・祝賀会が平成28年12月18日熊谷運動公園弓道場にて開催されました。



熊谷での記念品授与式

とても暖かな日差しの中、ご来賓を始め多くの会員が祝射、最後に答礼射が行われました。



答礼射

会場を移して祝賀会が埼玉グランドホテル深谷で開催され、ご来賓の方々のご祝辞、そして、ご家族のあたたかさが伝わる祝賀会でお開きとなりました。

飯島千代子範士にインタビュー

1. 今のお気持ちをお聞かせください。

この度、栄誉ある範士号を拝受できましたのは範士八段松沢岳先生、小宮栄子先生、小澤通春先生、そして近隣の先生方、地元の弓友、諸先輩に支えられてきたからこそこの賜と感謝の気持ちでいっぱいです。

2. 弓道を始められたきっかけは？

中学生の時、カッコイイ女学生を見かけ「それ何ですか？」「これは弓道よ。カッコイイと思ったのね。深女に入学して弓道部にはいりなさい。」それが私と弓道との出会いでした。指導者は町のおじさんでした。

3. 一番の思い出をお聞かせください。

平成3年に国体で忙しくしていた母親である私に、当時小学生の息子が書いた「国体に出た母を尊敬する。」の作文に力づけられました。

結果3位になり学生の時から応援してくれていた母に恩返しできたことです。

4. ご主人も弓道をされていますね。

弓道にのめり込んで私を見て、平成10年に始めました。その後の夫のバックアップのお陰で範士号拝受できたと思っております。大変感謝しております。

5. 今後の夢をお聞かせください。

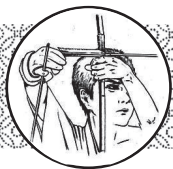
これまで育ててくれた多くの皆様への恩返しのためにもより一層の修練を重ねてまいります。今後ご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

叶わぬ夢かもしれませんが、昭和39年10月の東京オリンピックで国技披露のデモンストラーションに出させて頂きました。3年後の東京オリンピックでどのような形でも関わられたらと思っています。

飯島千代子範士の益々のご活躍をお祈りいたします。



画・松本 正



専門委員会だより

役職名は5月1日時点のものです。

総務委員会

裾野を広く、頂きを高く

前副委員長 平野 博幸

埼玉連だより第58号の総務委員会報告ではリオでの柔道選手たちの活躍に触れていました。柔道に限らずオリンピック選手たちはナショナルトレーニングセンターをはじめ、全国の活動拠点で数年、10年単位での強化に取り組んでいます。そこでは選手・コーチをはじめ様々な分野のエキスパートが現代的な知見を動員した取り組みを行っています。そうした成果がリオでの活躍でしょうが、同時に深刻な課題もあるといえます。柔道は競技人口がかつての半分に、フランスの方が多くなっていますし、お家芸と言われたバレーボールのチーム数も最盛期の半数以下になっているといえます。これはスポーツ界全体としてみれば各種のスポーツの隆盛と裏表の関係、すなわち様々なスポーツが人々の選択肢になっていることの反映かも知れません。しかし裾野を広げることはいずれの競技団体としても第一の課題ですから、悩みも深いものと思われまます。

埼玉連も同様です。ここ数年、埼玉連、とりわけ総務委員会の課題の第一は会員の拡大、とりわけ若い会員の獲得ということでした。弓道では道の探求もまた重要な課題ですが、裾野が広がってこそ頂も高くなるものであろうと思います。総務委員会では平成28年度に埼玉連だよりのHP掲載をスタートさせ、さらに各支部の協力を得てすべての弓道教室の情報を載せることとしました。地味な取り組みではありますが、こうした取り組みは必ず裾野の拡大につながると思います。これらに加え、平成29年度には埼玉連だよりのバックナンバーの電子化を始めます。IT事務所に保管している埼玉連だよりは知識の宝庫です。しかし、多くの会員にとって見ることのかなわないものでもあります。総務委員会として、近い将来には会員の閲覧が可能になるように工夫をしてみたいと思います。「温故知新」。先達の知恵が私たちに道を指し示してくれることになるでしょう。平成29年度も、埼玉連のさらなる前進のために総務委員会も活動を強めていこうと思います。

指導委員会

平成29年度指導方針

委員長 飯島 千代子

全弓連平成29年度指導目標は昨年度と同様です。

- 基本体及び射法・射技の基本
 - 正しい歩き方 P73
 - 正しい跪坐及び開き足 P69 P77
 - 胴造りの際、弓の本弭は左膝頭に置く
膝頭の内側には入れない P108
 - 正しい的のねらいの確認
他の人に見てもらおう P116 P119
 - 正しい矢束を引き納めの確認 P114
 - 離れで弓の握りが落ちるのを少なくする
- 矢羽の取り扱いと矢羽の使用に関する準則の徹底を図る
- あらゆる暴力やハラスメントの根絶を図る
- 弓礼・弓法問答集の改定箇所を周知する
- 弓道競技規則の改定について周知する
- 審査規定の改定について周知する
- アンチ・ドーピングについて周知する

1について

弓道教本第一巻に書いてあります。自分に都合よくしていると悪癖につながってしまいます。

副読本にも決められていることがありますのでそれらを守ってください

2について

決められていることを守りましょう。

3について

相手が不快に思っていると感じた場合は決して同じ言動や行動を繰り返さない。団体の秩序を乱すようなことがあってもいけない。

4・5・6について

弓礼・弓法問答集(改訂版) P19、問83

②立射の場合四つ矢の捌き方

答 末弭を床に付けても良い→床に付けるに変更になりました。

5・6の改定については、来年度から公認資格制度がはじまるので熟知してください。

7について

風邪薬やサプリメントのものも禁止成分の入っているものがあります。禁止物質・禁止方法について正確な情報を持っている「スポーツファーマシスト」に相談してください。

*スポーツファーマシスト

競技者・指導者への薬の使用に関する最新情報提供・啓発活動をしている薬剤師

競技委員会

安全管理

委員長 岡芹 喜行

平成28年度も会員皆様のご協力により県主催の各種大会を安全に進めることができました。これも選手、そして支えてくれる競技役員のお蔭と心から感謝しております。

新年度に入り役員の改選等があり任務と自己研鑽にと励み、通常の落ち着きを取り戻そうとしていることと察します。

競技委員会においても同様の改正がありましたので平成 29 年度も会員皆様のご指導・ご協力のほど宜しくお願い致します。

競技委員会では安全で安心して競技が行える対策が必要です。『安全管理』の一般的な意味としては、〔物事が損傷したり、危害を受けたりすることがないように管轄し、良い状態が保たれるよう処置すること〕といえる。

1、役員との打ち合わせ

事前に、本部役員と競技役員との間で協議を行っています。本部役員の役割、選考方法・表彰の確認などを行い、お互いに共通理解することで、スムーズな運営や進行時に迅速に対応がとれるよう、あらかじめ準備をしておく。

2、競技役員共通理解を図る

競技役員全体での打ち合わせや各係の業務分担の確認。プログラムの進め方、連絡体制などそれぞれの理解に違いがあると、意見が食い違ったりすることになり、結果として選手にも影響が及ぶこととなりますので、共通理解を図っています。

3、時間管理の余裕

一日の時間の中で、試合の進め方によっては時間に追われ、無理が生じます。結果としてあせりが生じたり、注意散漫になったりして、事故やけがが起りやすい状況となります。

余裕をもった計画や時間管理は、安全管理の面でもたいへん重要です。常に事故がないよう願うばかりです。

終わりに、神奈川弓連との指導者交歓会の寸評です。神奈川県が勝利。射形については、神奈川県の方全員が弓手の前腕の使い方並びに手の内の整え方が爪先をひとそろえにして握る方法をとっていた。埼玉県の方の射はどのように映ったでしょうか？

国体選手強化委員会

2017 関東ブロック大会突破に向けて

委員長 瀧上 三郎

昨年のブロック大会敗退を受け、本年度関東ブロック大会突破に向けて弱点である遠的強化を育成会で行い、3月からの選考会に備えました。

3月11日に第1回選考会を県立武道館において男子15名、女子10名の参加者で行いました。

最初の8射の成績は以下の通り

男子 遠的上位3名×7中計21中127点

近的上位3名×7中計21中

女子 遠的上位3名(1名×7中、2名×6中)
計19中146点

近的上位3名(各1名×8中、7中、
6中)計21中

4月9日には第2回選考会を同じく県立武道館において男子18名、女子12名の参加で行いました。

男子 遠的上位3名×8中計24中128点
近的上位3名×7中計21中

女子 遠的上位3名×7中計21中146点
近的上位3名×7中計21中

男子の遠的は、的中率は良いが得点が伸びてこない傾向にあり的心に矢をまとめる集中力を強く持ち続けることが今後の課題です。

また男女とも近的においては的中率を上げ安定性を追求してほしいです。今現在の成績では関東突破レベルに達していないが、最終選考会(第3回)を4月29日に県立武道館で開催予定です。ここで本国体に進むべき選手を決定します。そして錬成会では選手と監督やスタッフが一体となって関東ブロック大会を突破出来る埼玉県代表チームを作り上げたい。

新チームの初練習は5月6日に熊谷運動公園弓道場でスタート、県武での錬成会。少年チームとの合同錬成会も行う予定です。6月には栃木、群馬、埼玉の国体成年選手が揃う三県合同練習会や三県選抜大会に参加し、他県の選手と競いながら実戦形式での強化を図る所存です。

会員の皆様には応援のほど宜しくお願いいたします。

審査委員会

審査委員会から

前委員長 古泉 利昭

お陰様で28年度の県内審査会は、無事に終了いたしました。会員の皆様のご協力に厚く御礼を申し上げます。

【28年度の審査受審の概要】

さて、28年度の審査受審状況ですが、県内審査では、地方審査が、3,033名(前年比89名増)、連合審査が168名(同1名増)となっています。

また、他地域実施の受審では、地方審査が0人(同3名減)、連合審査498名(同47名減)、学生・教員特別審査が227名(同13名減)、中央審査が1,146名(同2名増)となっており、受審者合計では、5,072名(同32名増)となっています。

また、合格の状況ですが、全体の合格率(総合格者数/総受審者数)は44.7%(前年比1ポイント増)と昨年よりわずかな増加でした。内訳は、地方審査が、2,063名(前年比118名増)連合審査が、32名(同16名減)、学生・教員特別が133名(同32名減)、中央審査が37名(8名減)でした。

【学科審査での勘違いなど】

今回は、学科審査における勘違いや問題をよく読まないで回答されている例を2つ。

- ① 参段と四段の学科問題にかっこ書きで、教本のどこのページのことか注意書きのある問題があります。いずれも「動作」と「8つ」というのが同じで間違いやすいため、わざわざかっこ書きで書いてあります。この問題を出题すると、違う方の回答を書く方が毎回います。
- ② 「○○を列記し、△△について説明しなさい。」という問題で、○○と△△の両方を書かなければいけないのですが、片方しか回答のない方も毎回います。

どちらの問題もあわてないで、しっかり問題を読めば、こんな間違いはしないと思います。どうかご注意くださいようお願いします。

女子部

女子部だより

女子部長 鷹巣 光子

昨年の女子大会は東日本女子大会のリハーサルを兼ねて皆様のご協力のもとに行なってみました。今年度の女子大会に於いても参考にして行きたいと思っております。どうぞよろしくご協力の程お願いいたします。

女子部の講習会については、平成28年度より四段以下の講習会は取りやめ、五段の方達を対象に小宮範士を迎えて1月の寒い中を57名の参加で行いました。

小宮先生は埼玉県の先生ですが、なかなか皆さん方ご指導していただく機会がなく当日は微に入り細に入ったご指導をして頂き、また審査に於いての心構え等、貴重な講話をして頂きました事、有意義な講習会でした。

これからの女子部主催の研修会は、全弓連に於いても福岡の女子審査会が28年度を持ちまして廃止となり、また関東連合の女子研修会も29年度で終了されるとの事から、今後女子だけの研修会はだんだん難しくなると考えております。どうぞ女子会員の皆様のご理解をよろしく願います。

今年度は県の役員改選に伴い女子部に於いても長らく女子部委員から副部長まで16年間活躍して頂きました大上直美教士六段が退任することになりました。有難うございました。東部支部の後任者は同じく宮代町弓道連盟の山本管子錬士六段にお願いしました。どうぞよろしく願います。

今年度の第53回全日本女子弓道大会[東日本の部]は青森県の弘前市にある武道館で10月8日(日)に行われます。青森県では、参段以下の部・四段以上の部・称号者の部の3部門があり四ッ矢で行いますので皆さまの参加をお願い致します。又、翌日は東北北部三県連合審査も行われますから、審査を兼ねての参加もよろしいかと思っております。次回の埼玉県で行います時は参段以上の方で一手・二部門と考慮中です。

高 体 連

東日本大会のお礼と本年度に向けて

委員長 山田 紀之

3月18日(土)～20(月)の3日間、埼玉県立武道館主道場特設弓道場において、第16回東日本高等学校弓道大会埼玉大会が開催されました。この大会は北海道、東北、関東の各道都県の代表男女各44校が出場して5人制と3人制の2種類の競技を行います。埼玉での開催は14年ぶり2回目となります。

3年前から準備を始め、埼玉県弓道連盟の全面的な御支援をいただき、武道館初となる特設弓道場を設置して実施いたしました。

16日の会場設営に始まり、弓道専門部の顧問と、役員学校の弓道部員が総掛かりで準備、運営にあたりました。

18日に公開練習、開会式、大宮のパレスホテルでの100名を超える歓迎レセプション、19日には埼弓連会長本橋先生の矢渡のあと5人制競技、20日は3人制競技、閉会式と大変忙しい日程ではありましたが、お陰様で、全日程滞りなく無事に終了することができました。

また、1日目の5人制競技女子の部において、坂戸西高校が優勝、2日目の3人制競技男子の部において川越総合高校が優勝することができました。

多くの皆様の御協力により、地元開催の大会が大成功のうちに終了することができ、開催県委員長として、大変うれしい思いでした。重ねて関係の皆様に感謝、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。



武道館主道場 特設弓道場

大会閉会式で、埼弓連会長の本橋先生より、講評をいただきました。その中で、今大会に集まった選手の皆さんが大変立派であったというお褒めの言葉をいただきました。射場での様子だけでなく、控での態度、道具や荷物の整理整頓の様子、館内でのあいさつ、トイレのスリッパがいつも整えられていたことなど、弓道を学

ぶ者としてのマナーもしっかりできていたということでした。

我々顧問としても、弓道を通して何を子供たちに教えていくのか、日々の活動が、日常生活の中でも活かされていくような、そんな活動をしていきたいと改めて感じました。

埼玉開催の大きな大会はしばらく回ってきません。今大会で今まで以上に培われた顧問や生徒のチームワークを今後の専門部の活動に活かしていければと考えております。



東日本大会役員、補助員集合写真(3/20)

年度が改まり、4月18日(火)に大宮公園弓道場において、平成29年度の専門部顧問総会が行われました。全顧問が一堂に集まるのは年1回です。本年度は役員改選の年にあたり、平成29、30年度の役員体制が決定いたしました。

引き続き私が委員長を仰せつかりました。微力ながら、高校弓道発展、また卒業後も続けられる弓道人育成のために、努力して参りたいと存じます。ご指導くださいますようお願い申し上げます。

副委員長には、秩父農工科学高校の丸山康弘先生、さいたま市立浦和高校の眞藤純行先生、深谷第一高校の坂本修先生、伊奈学園総合高校の鎌塚尚子先生の4名をお願いいたしました。

本年度、専門部の重点課題として、愛媛国体出場、入賞に向けて、関東ブロック予選を突破していけるチーム作りということがあります。

関東各都県とも、強化を図っており、8都県のうち3つに入るレベルは上がっています。過去のデータを見ても、埼玉が関東ブロックを1位で通過した年は、本国体で必ず入賞しています。1位通過目指して、選手選考、強化を図って参りたいと思います。



顧問総会での本橋会長からのご挨拶

また、事故防止、体罰防止、効果的な部活動指導のあり方等、県高体連、体育課から全専門部が指導されている課題も多くあります。

生徒減少の中にあつて、弓道部員の人数は漸増傾向にあり、そうした弓道を志す子どもたちをどう育てていくか。先にも書きましたが、弓道を通して何を学ばせるか。弓道部活動の意義は益々大きくなってきていると思います。我々顧問も部活動のあり方や運営方法について、時代に合った形を改めて研修して行く必要があると考えています。

今後とも引き続き、高校弓道部への御支援、御指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。



新役員 左から山田、丸山、眞藤、坂本、鎌塚

〈大会結果〉

●全国選抜大会県予選 平成 28 年 11 月 5 日 (土) 6 日 (日) 12 日 (土) 男子 148 チーム 455 名 女子 150 チーム 459 名 大宮公園弓道場

○男子団体／①東農大三 A (伊東和輝、榎本祥太、平良 陸、栗原滉大)②川越総合 A (田中大地、落合聖也、神山海斗、長田優輝)③浦和西 B (吉田圭吾、前田凌佑、井上恵輔、三津田 凌)

④大宮南 A (豊橋 真、村田空知、永廻 亮、岡安零也)

○女子団体／①鳩ヶ谷 A (岡本暁音、與儀明日香、黒澤万史子、藤井麻爾)②岩槻商業 A (田邊優実、岡崎遥香、河野志織、塚田 舞)③

埼玉栄 A (町田麻梨愛、篠田あずさ、石渡ゆう、埜 愛海)④東農大三 A (金子悠希、松本 萌、杉沼菜々子、相川優香)

○男子個人／①田中大地 (川越総合)②永廻 亮 (大宮南)③小澤賢人 (寄居城北)

○女子個人／①杉沼菜々子 (東農大三)②田中梨湖 (熊谷女子)③牧野凧沙 (坂戸西)

※ 団体男女各 1 位、個人男女各 1、2 位、は全国高校弓道選抜大会に出場

●第 35 回全国高等学校弓道選抜大会

平成 28 年 12 月 23 日 (金) ～ 25 日 (日)

日本ガイシホール特設弓道場

○男子団体／⑤東農大三 (伊東和輝、榎本祥太、平良陸、栗原滉大) 技能優秀校 東農大三

○男子個人④田中大地 (川越総合)

●第 16 回東日本高等学校弓道大会埼玉大会

平成 29 年 3 月 18 日 (土) ～ 20 日 (月)

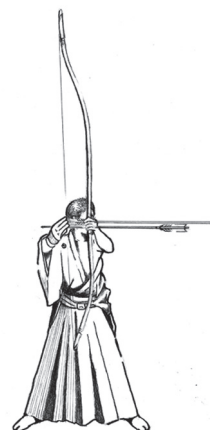
埼玉県立武道館主道場特設弓道場

○5 人制 女子団体／①坂戸西 (牧野凧沙、安藤穂乃香、村田瑞季、大木涼々花、大塚美侑、石井莉香、橋本真希)

○3 人制 男子団体／①川越総合 (田中大地、神山海斗、落合聖也、久木野幹生)

○3 人制 女子団体／③坂戸西 (牧野凧沙、安藤穂乃香、大塚美侑、村田瑞季)

※男子 川越総合、女子 坂戸西は、29 年度推薦出場



画：松本 正

大会・射会入賞記録

●平成 28 年度埼玉県武道大会弓道大会

平成 28 年 11 月 20 日 (日) 170 名参加 (中学生 30 名、高校男女・一般男女各 5 名ずつ 7 支部計 140 名)
埼玉県立武道館

◎中学個人の部:①板谷栞里 (市立浦和中学)、②尾形 智 (三芳町立三芳中学)、③青山千佳 (所沢市立南陵中学)

◎支部対抗の部:①県南支部、②県央支部、③県北支部

◎個人の部/○高校女子:①中野優衣 (深谷第一)、②油谷樹乃 (浦和西)、③田島梨央奈 (秩父農工科学) .

○高校男子:①榊原奎亮 (春日部)、②寺田陸人 (与野)、③渡邊敏生 (秩父農工科学)、○一般女子:①昆恵梨香 (川口)、②奈良久美子 (鴻巣)、③千葉なつき (吉川)、○一般男子:①宮崎正範 (吉川)、②村永政志 (川口)、③下田 徹 (所沢)

●平成 29 年 埼玉県弓道連盟新年初射会

平成 29 年 1 月 8 日 (日) 338 名参加 (称号者 198 名、有段者 140 名) 埼玉県立武道館

○称号者の部:①池谷 茂 (上福岡)、②岡芹喜行 (本庄)③新井 満 (春日部)、④相馬喜恵 (川口)、⑤安野雄次 (小川)、○有段者の部:①新里 陵 (久喜)、②奥富季乃 (所沢)、③帯津尚子 (三芳)、④長谷川 清 (大宮)、⑤若林 陵 (小澤)

●全国勤労者選手権大会 埼玉予選会

平成 29 年 3 月 12 日 (日) 参加者 36 名 (12 チーム) 県立武道館弓道場

① ホンダ埼玉 A チーム (伊藤隆司、鈴木真人、和田秀之)

② 航空自衛隊入間基地 (武田宜久、加藤則康、大石泰彦)

③ 日高市役所 (駒井 優、国分俊幸、加藤正史)

上位 2 チーム (3 位は補欠) は平成 29 年 6 月 9 日 (金) ~ 11 日 (日) に福井県敦賀市で行われる、第 64 回全日本勤労者弓道選手権大会に出場

●神奈川・埼玉県弓道指導者交歓射会

平成 29 年 3 月 19 日 (日) 112 名参加 (神奈川県立武道館弓道場)

埼玉県連 35.76% 神奈川県連 41.81%

埼玉県優秀選手 保科義憲 (東松山)、武政宏美 (岩槻)、宮澤梢枝 (川口)、西崎明伸 (入間)、池谷 茂 (上福岡)

●第 68 回全日本弓道大会

平成 29 年 5 月 2 日・3 日

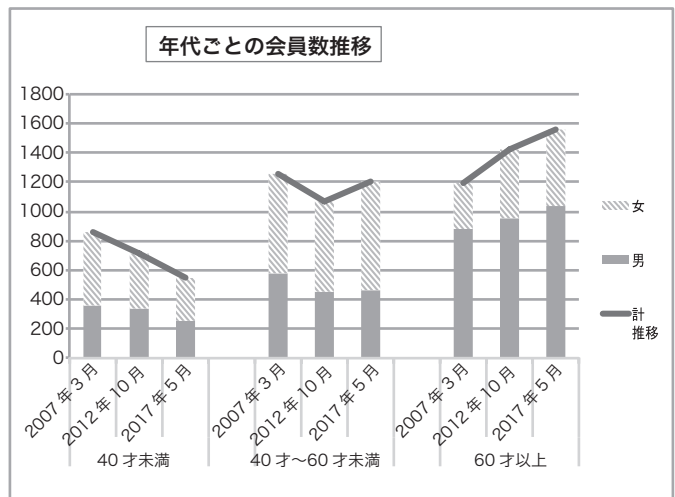
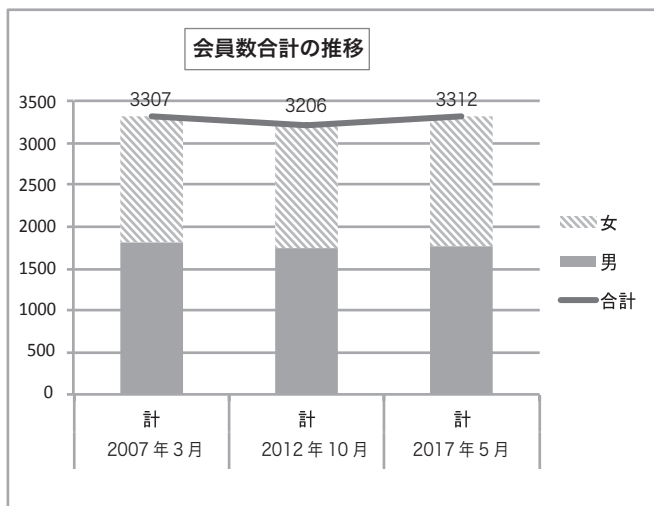
○錬士の部:⑤松永芳栄 (駒場)

埼玉弓連一般会員の推移

この 10 年間の一般会員の推移は以下のとおりです。

1. 全体数はさほど変化していない
2. 高齢にシフトしている (シニア化が顕著)

それぞれ、定着率の向上と若い会員の入会促進が課題であり、継続的な対応が必要と思われまます。





役職名は5月1日時点のものです。



支部長就任あいさつ

支部長 石田 徳光

この度、支部長の大役を仰せつかりました石田徳光と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任の守屋先生は、しっかりと秩父支部各道場、及び弓友を率先垂範されてまとめてくれました。その後を引き継いでいかねばならないこととなり、身のすくむ思いでいっぱいであり、諸先輩の方々のご指導とご鞭撻を切に願うところでございます。秩父は、武道の大変盛んな地域であります、このような歴史のある埼玉県弓道連盟秩父支部をまとめていくとなると多くの方々諸先輩はもちろん弓友の多くのお力を賜りませんとこの任はつとまりません。

秩父地域は、人口が減少傾向にありまして、弓道人口もあまり多くはございませんが、素晴らしい方々がおられますので、秩父独特のまとまりのある支部にできればと考えております。道場同士の交流を深め、弓道の向上はもとより年齢を超えての人間関係の醸成をはかり、弓道を通して生きがいを持ち人生の豊かさを求めていく雰囲気を感じられます。秩父の良さと思います。歴史と伝統あるこの秩父支部が、一層進展していくためにも埼玉県弓道連盟と秩父支部の連絡を綿密にとり、運営に心がけていきたいと思っております。どうぞ今後ともお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

<競技・講習会>

●平成 28 年度、支部カップ戦

第 1 回カップ戦 (4月 17日)

秩父第一弓道場 参加 101 名
 中学生①引間凧杜②町田たばさ③村田栞歩
 高校女子①田島梨央奈②黒沢 萌③堀口綾音
 高校男子①金子怜詩②坂本悠亜③茂木唯人
 一般女子①加藤春美②井上美根子③引間恵子
 一般男子①望月雄宣②藤井武政③根岸巳希矢

第 2 回カップ戦 (7月 10日)

秩父第一弓道場 参加 90 名
 中学生①新井怜児②茶木海翔③井上奈穂
 高校女子①田島梨央奈②力山琴未③井上美羽
 高校男子①長島晃雅②野沢和寿③丸山貴晴
 一般女子①加藤春美②新井幸子③町田昭代
 一般男子①井上 誠②町田文利③丸山康弘

第 3 回カップ戦 (8月 7日)

秩父第一弓道場 参加 85 名
 中学生①大野美月②引間凧杜③井上奈穂
 高校女子①町田結穂②吉澤悠弥③井上美羽
 高校男子①入澤太一②柴山 敦③引間愛斗
 一般女子①加藤春美②井上美根子③引間彩乃
 一般男子①丸山 彰②町田文利③丸山康弘

第 4 回カップ戦支部近的・遠的選手権

(9月 11日) 秩父第一弓道場 参加 38 名
 近的の部

一般女子①大堅敦子②吉澤和代③新井幸子
 一般男子①石田徳光②中島烈士③黒沢 誠

遠的の部

一般①守屋 豊②若林 陵③丸山 彰
 ④山科くるみ⑤中島烈士⑥黒沢 誠

第 5 回カップ戦 (10月 30日)

秩父第一弓道場 参加 101 名
 中学生①引間凧杜②浅賀大幹③島崎祐輔
 高校女子①春山季子②田島梨央奈③祐川夏希
 高校男子①島崎真城②島崎伸孔③柴山 敦
 一般女子①齊藤公子②加藤春美③大野きみ
 一般男子①守屋 豊②藤井武政③若林 陵

第 6 回カップ戦・納射会 (12月 11日)

秩父第一弓道場 参加 91 名
 中学生①引間凧杜②本多伊織③谷藤諒弥
 高校女子①齊藤花怜②町田結穂③黒沢 萌
 高校男子①島崎真城②川西俊祐③丸山貴晴
 一般女子①加藤春美②大野きみ③浅見陽子
 一般男子①富田昌孝②守屋 豊③新井久慶

第 7 回カップ戦・初射会 (1月 15日)

秩父第一弓道場 参加 100 名
 中学生①引間凧杜②浅見綾香③中島莉々夏
 高校女子①町田結穂②黒沢菜々③小菅 萌
 高校男子①倉林竜哉②島崎伸孔③中島 遼

一般女子①大野きみ②加藤春美③山科くるみ
一般男子①富田昌孝②猪野 栄③望月雄宣

○女子部射会 秩父第一道場

第1回(5月8日) 参加16名

①山科くるみ ②町田昭代 ③浅見陽子

第2回(8月21日) 参加14名

①間 彩乃 ②齋藤公子 ③井上美根子

第3回 研修会・射会(11月13日)

参加13名

①吉澤和代 ②井上美根子 ③浅見陽子

○寿射会(6月15日) 秩父第一道場 参加29名

①栗原 登 ②石田徳光 ③猪野 栄

●講習会

四段以下講習会(8月28日)(日)

秩父第一道場 参加25名

講師：岡芹喜行教士

内容：一手審査方式、高校と一般に別れ基本動作と注意点、射技指導等

特別講習会(五段以上)(12月25日)(日)

秩父第一道場 参加20名

講師：坂本武彦教士

内容：一手審査方式、基本動作、射技指導。

修練の目的をはじめ、弓道を次代にどれだけ伝えていくか。教本に基づく基本の習得と指導。危険防止…弓具の扱い方等講話をいただきました。

四段以下講習会(1月29日)(日)

秩父第一道場 参加6名

講師：町田文利教士 他支部指導委員

内容：入場から矢番え動作、退場までの基本動作。射技指導。

女子部講習会(3月12日)(日)

秩父第一道場 参加13名

講師：戸塚藤代教士

内容：一手審査方式、基本動作と解説・櫛掛けの指導、射技指導。持的及び一つの射礼の指導をいただきました。

高校生講習会(3月20日)(月)

秩父第一道場 参加36名

講師：町田文利教士 他支部指導委員

2班に分かれ午前中は、基本動作・入退場・取り弓の姿勢・矢番え動作。午後は、入退場を含め射技指導、最後は一手行射で講習会を終了。受講生の熱心さが伺えた1日でした。

投稿

長寿表彰受賞にあたり

所沢市弓道連盟 奥村 繁

本日は、私どもに長寿の表彰をして頂き厚く御礼申し上げます。

私達は多忙のうちに馬齢を重ね、はや八十年を超えてしまいました。

振り返りますと、戦後の混乱が収まる頃に社会に出て、高度成長期や低迷期のいつの時代でも、会社人間となって全力で働き続けて参りました。そうして、会社勤めを卒業し仕事を離れると、世間一般では、退職後の生き方が問題となっているのです。

しかし、私達は違いました。私達には弓道がありました。弓道の修練は身体の錬磨であり、精神の修養であります。八十歳を過ぎても、より美しい射を目指し、より充実した射を求めて研鑽の日々を送っています。

これは、私達高齢の者にとって、まさしく生きる事の賛歌・「生」の賛歌であります。

私達がこのような弓道生活を送ることが出来るのは、先生方のご指導と連盟のバックアップのお陰であります。ここに、ご指導頂いた先生方、連盟を運営される先生方に対して深く感謝申し上げます。

なお、私自身は、この生を全うする迄の日々を、文献や映像を参考にしつつ弓道の本質を究めることに費やして参りたいと思っております。

本日は誠に有難うございました。



県北支部

支部長 高橋 久雄

中央審査昇段昇格者祝射会 兼支部新年初射会

副支部長 佐藤 文治

県北支部では1月22日(日)標記について熊谷運動公園弓道場において新年の最初の行事が穏やかな陽射しの中行われました。

高橋支部長の挨拶、松沢岳名誉会長の祝辞、昇段昇格者紹介(飯島千代子範士、高橋久雄教士、中島憲一六段、吉野泰子六段、中嶋由美子六段、長嶋悦子六段、井上まり子錬士)、昇格者記念品贈呈、昇段昇格者を代表して飯島千代子範士からご挨拶をいただき、祝射に移りました。

まず松沢岳範士による巻藁射礼、支部長の矢渡、正能正三教士・岡芹喜行教士による立射礼、中野忠雄教士・茂木昭夫教士・北田ヤ千代教士による一つの射礼、寺崎正道教士・手嶋照晃教士による一つの射礼、錬士以下は審査方式で行いました。

午後は答礼射で、飯島千代子範士の射礼と、高橋久雄教士、長嶋悦子六段、中嶋由美子六段、井上まり子錬士による持的射礼が行われました。その後、一手2回の競射を行い、祝射と合わせて計6射で競技を競いました。

今年92歳になられた松沢岳先生の気迫ある巻藁射礼と飯島千代子先生の優雅な答礼射、範士二人の先生に射を披露していただき、心に残る新年初射会となりました。

<競技・講習会>

●第三回支部カップ戦

平成28年10月23日(日) 寄居町立アタゴ記念館弓道場 参加77名

団体①本庄：佐藤敏勝、村岡昌美、桜沢 武
②鴻巣：設楽謙二、奈良久美子、荻原明美
個人一部①設楽謙二、②島村保夫、③中島 勇
二部①中 唯志、②桜沢 武、③衣袋秀男
三部①佐藤敏勝、②関口友樹、③田邊友明

●新年初射会兼祝射会

平成29年1月22日(日)

熊谷運動公園弓道場 参加58名

個人一部①田本純子②井上まり子③飯島千代子

二部①下川明生、②長井敦史、③飯嶋常敏
三部①山下広二、②栗原芳江、③土屋郁代

●平成29年県北支部総会及び射会

平成29年3月26日(日) 熊谷運動公園弓道場

参加 総会35名、射会30名

個人一部①高木行治、②中野忠雄、③岡芹佳子
二部①樋口和宏、②村岡昌美、③奈良久美子
三部①井下光司

●第104回県北高校弓道大会

平成29年3月28日(火) 熊谷運動公園弓道場

参加14校306名(男子146名、女子160名)

男子優秀校：正智深谷高校、
女子優秀校：深谷第一高校
個人男子①荒木優太、②藤本捺希、③松岡真佑
女子①佐々木風音、②完倉菜々子、③石島 彩

●第三回支部講習会(四段以下)

平成28年10月30日(日) 本庄市弓道場

参加49名

講師：正能正三教士、寺崎正道教士
内容：一手審査方式、射技指導、体配等

●第三回支部練成会

平成28年12月10日(土) 本庄市弓道場

参加32名

講師：松沢 岳範士、岡芹喜行教士、戸塚藤代教士
内容：射礼、射技指導等

●第四回支部講習会(三段以下)

平成29年2月26日(日) 熊谷運動公園弓道場

参加35名

講師：正能正三教士、戸塚藤代教士
内容：一手審査方式、体配、射技指導等

●高校生受審者講習会

平成29年3月26日(日) 熊谷運動公園弓道場

参加133名

講師：飯島千代子範士、正能正三教士、戸塚藤代教士、支部役員等 計16名
内容：基本動作等体配、審査方式、射技指導等



画・J.M

東 部 支 部

支部長 北原きい子

支部長退任を迎えて

前支部長 小林 次雄

この度、東部支部長を退任させていただくことになりました。2期4年にわたり皆様方のご支援のおかげで、なんとか任期を務めさせていただくことができました。

就任時に支部だよりに書いた「会員の皆様が、支部行事に気持ち良く参加できるように信頼関係を築く」ことを達成するために努力してきました。この事については、達成することが出来たと思っております。これも支部役員の皆様からのご協力があったからこそと感謝しきれない気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、任期中いたらぬ点もあったかも知れませんが、新しい支部長を迎え、ますます東部支部の活動が活発になることを心より念じております。

< 競技・講習会 >

●平成 28 年度 関東個人選抜大会県予選会

平成 28 年 8 月 24 日、25 日 於大宮公園弓道場

○男子 12 位後藤 駿之介 (春日部高校)

○女子 6 位井上 結衣 (伊奈学園総合高校)

(関東高等学校弓道個人選手権選抜大会に出場)

●第 71 回国民体育大会 (関東ブロック予選会)

出場○少年女子の部、井上結衣 (伊奈学園総合高校)

●県民総合体育大会 兼 高校弓道新人戦

平成 28 年 10 月 2 日 於大宮公園弓道場

○男子団体の部 第 7 位 花咲徳栄高校

(山下紘平・増谷尚典・石巻 溪・黒濱 光)

●埼玉県高等学校弓道選手権大会兼全国高等学校選抜弓道大会 埼玉県予選

平成 28 年 11 月 5 日、6 日、12 日

於大宮公園弓道場

○男子個人の部：第 6 位 後藤駿之介 (春日部高校)

第 8 位 牧野 巧 (久喜北陽高校)

●東部支部納射会

平成 28 年 12 月 18 日 (日) 大宮公園弓道場

参加 85 名

○①末廣典明 (久喜)②齋藤幾央 (北本)、③村上節子 (上尾)

●支部初射会

平成 29 年 1 月 9 日 (月) 大宮公園弓道場

参加 115 名

○個人①末廣典明 (久喜)、②高橋かおる (久喜)

③西山 茂 (上尾)、○金的 齋藤幾央 (上尾)

谷澤聖子 (春日部) 塩田平一 (幸手)

●支部総会・射会

平成 29 年 3 月 20 日 (月) 大宮公園弓道場

参加 88 名

○①岩田光生 (上尾)、②二見富士夫 (春日部)

③仲田孝雄 (上尾)

●第 6 回講習会 (弐段以下の部、参・四段の部)

平成 28 年 10 月 10 日 (月) 大宮公園弓道場

参加 28 名

講師：支部称号者 内容：基本体、入退場、本座および射位での作法、審査の要領での行射、射技指導、講義 (弓道人の心得、弓具の取り扱い)

●指導部・競技部合同研修会

平成 28 年 12 月 10 日 (土) 大宮公園弓道場

参加 指導部研修 22 名、競技部研修 29 名

講師：支部称号者 内容：介添、全弓連指導方針の周知と履修、失の処理、競技役員業務の確認 (グループ討議)、弓道競技規則改訂箇所の周知、模擬射会

●自主錬成会

平成 29 年 2 月 4 日 (土) 大宮公園弓道場

参加 18 名 参加者による自主運営

内容：審査方式、持的射礼、失の処理、射技練習、質疑応答

●第 7 回講習会 (高校生)

・平成 29 年 3 月 26 日 (日) 大宮公園弓道場

参加 106 名

講師：支部称号者 内容：基本の動作研修、入場から退場までの審査の動作研修、審査方式での行射 (立番を変えて繰り返し実施)

・平成 29 年 3 月 28 日 (火) 大宮公園弓道場

参加 123 名

講師：支部称号者 内容：基本の動作研修、入場から退場までの審査の動作研修、審査方式での行射 (立番を変えて繰り返し実施)

県南支部

支部長 森 正一

新支部長就任

支部長 森 正一

3月18日(土)、支部総会において、森正一先生が県南支部長に就任されました。各役員にも交代があり、県南支部は森支部長のもと、新年度をスタートいたします。

県南支部宿泊研修会

県南支部では、毎年、合宿形式での研修会を実施しています。各弓連の垣根を越えて会員が一堂に会して寝食を共にする宿泊研修会は、年に一度の大変貴重な行事となっています。

本年は2月25日(土)～26日(日)の日程で、教士八段坂本武彦先生を講師にお招きし、大宮公園弓道場にて宿泊研修会を実施いたしました。

春のような暖かな日和のもと、審査形式による一手行射、持的射礼、一つの射礼、個別射技指導、講話、模範演武など多彩なメニューでの充実した研修が行われました。

二日間を通じて坂本先生には終始きめ細やかな御指導を頂くとともに、弓の歴史をはじめ多岐にわたる貴重な講話を頂きました。

受講生一同の「一言たりとも聞き漏らすまい」と食い入るようにメモをとる姿、活発な質疑応答、そして気迫に満ちた稽古の様子が大変印象的で、緊張感と活気に溢れた有意義な研修でありました。

場所を移しての夜の部(懇親会)では、皆が時間を忘れ弓談義に花を咲かせ、また、プロ顔負けの名司会によるゲームで大いに盛り上がり、思い思いに親睦を図ることが出来ました。

坂本先生そして幹事担当の皆様、誠に有難うございました。(草加市弓道連盟 小谷敏明)



<競技・講習会>

●平成28年度納射会 県営大宮公園弓道場
平成28年12月11日(日) 参加者111名
①二宮三千子(戸田)②村永政志(川口)③加藤陸正(戸田)

●平成28年度初射会 県営大宮公園弓道場
平成29年1月15日(日) 参加者116名
①飯田恵美子(越谷)②昆恵梨香(川口)③鈴木多恵子(吉川)

●平成29年度総会射会 県営大宮公園弓道場
平成29年3月18日(土) 参加者110名
①相馬喜恵(川口)②秋元弘美(戸田)③昆恵梨香(川口)

●第3回式段以下講習会 県営大宮公園弓道場
平成28年10月15日(土) 参加者33名
講師：浅野有三、小川幸子、豊田英子 各教士

●第3回三・四段講習会 県立武道館弓道場
平成28年10月22日(土) 参加者41名
講師：岡田義助、鷹巣光子 各教士

●第4回三・四段講習会 県営大宮公園弓道場
平成29年1月22日(日) 参加者47名
講師：本橋民夫、谷口保雄、小川幸子、鈴木多恵子 各教士

●第4回式段以下講習会 県営大宮公園弓道場
平成29年2月5日(日) 参加者31名
講師：岡田義助、鹿野信恵、相馬喜恵 各教士

●県南支部高校生講習会

①平成29年2月4日(土) 参加者81名
県立武道館弓道場

講師：出下晃一郎、豊田英子 各教士、高橋なみえ、有ヶ谷将人、西野静子、岡本好久 各錬士

②平成29年2月12日(日) 参加者73名
県立武道館弓道場

講師：森 正一、鈴木多恵子 各教士、佐々木陸美、木本将史、星野里美、矢部 慶 各錬士
※講習内容は各段位に応じて体配、射技指導等を実施

●県南東部高校生大会

平成29年3月25日(土) 県営大宮公園弓道場
審判員 出下晃一郎教士

県 央 支 部

支部長 古泉 利昭

初心者教室の状況

前支部長 浅子 好夫

28年度は、支部内4道場で下記のように初心者弓道教室を実施しました。

- 大宮武道館：4-6月・木曜午前・10回
- 岩槻文化公園体育館：5-6月・土曜午前・8回
- 浦和駒場体育館：5-8月・日曜夜・10回
- 記念総合体育館：9-10月・土曜午前・8回

いずれも、20名から30名の募集で年間の募集人員は、合計105名になります。参加料は3～4千円（傷害保険料含み）です。どの道場も抽選で決定するほど応募者が多く、毎年3倍を超える倍率の道場もあります。

各道場では、初段取得までアフターケアをするなど工夫をして定着率アップを図っていますが、いかに継続をして長く弓を引いていただけるかが課題です。

29年度も昨年と同じく4道場で初心者教室を実施しますが、大宮武道館では、女性だけの募集を行い、先生も女性だけで行うということで教室を計画、平日の午前中でしたが19名の応募がありスタートをしました。初の試みということで、良い結果が出ることを皆で期待しています。

<競技・講習会>

●武道大会出場者最終選考会

平成28年10月8日（土）県立武道館弓道場
参加18名

出場選手男女各5名代替要員2名選出

●市民体育大会

平成28年10月5日（土）県立武道館弓道場
参加103名

○団体①岩槻（小原真弓・武政宏美・堤麻里奈）
②駒場（鈴木逸士・仁木弘之・堀口忠芳）③記念（須藤啓介・田中祥実・田中智久）○個人男子①岩崎健次（記念）②亀沢光治（記念）③荒井勝明（大宮）○個人女子①武政宏美（岩槻）②堤麻里奈（岩槻）③上水流敦子（記念）

●市民体育大会高校の部

平成28年10月25日（日）大宮公園弓道場
参加604名

○団体男子①岩槻商業（金子・淵田・関根）②浦和学院（坂井・長岡・加藤）③岩槻商業（矢部・江原・山根）○団体女子①大宮南（浅海・柿沼・田端）②与野（中込・佐藤・町田）③岩槻商業（田邊・岡崎・河野）○個人男子①増田拓馬（浦和）②淵田大智（岩槻商業）③遠藤颯人（大宮光陵）○個人女子①浅海真由（大宮南）②田邊優実（岩槻商業）③関萌花（市立浦和中）

●県央支部杯・市選手権大会

平成28年11月13日（日）大宮公園弓道場
参加95名

○団体①松田美紀（大宮）今井英貴（記念）飯嶋功（岩槻）②小股 聡（記念）長谷川清（大宮）松永芳栄（駒場）③須藤啓介（記念）高山一根（記念）奥山ゆう（大宮）個人○称号①松永芳栄（駒場）②飯嶋 功（岩槻）③中島幸子（大宮）○四・五段①金子節子（駒場）②嶋村ふみ江（大宮）③片田哲（記念）○参段以下①北野達夫（駒場）②原田昌彦（駒場）③石田典子（大宮）

●県央支部納射会

平成28年12月11日（日）県立武道館弓道場
参加111名

○称号①竹内せき子（大宮）②軽込次男（岩槻）③長安博之（駒場）○四五段①小澤伸江（大宮）②清水 浩（岩槻）③金子節子（駒場）○参段以下①長谷川清（大宮）②岩崎健次（記念）③新島麻美（大宮）

●県央支部初射会

平成29年1月9日（月）県立武道館弓道場
参加144名

○称号①中島美佐子（大宮）②浅野有三（記念）③竹内せき子（大宮）○四五段①倉林佳子（記念）②小澤伸江（大宮）③五十嵐喜久雄（駒場）○参段以下①小股 聡（記念）②須原 暢（大宮）③新島麻美（大宮）

●県央支部総会射会

平成29年3月19日（日）大宮公園弓道場
参加91名

①小石久枝（記念）②金子節子（駒場）③渡部圭子（岩槻）

●春季高校生（中学生）大会

平成29年3月30日（木）大宮公園弓道場
参加631名

○団体男子①浦和（横山・宮本・増田）②埼玉栄（金子・千葉・塚原）③岩槻商業（江原・矢部・山根）○団体女子①大宮南（浅輪・中村・村上）②大宮光陵（小林・古谷・松本）③大宮南（安武・矢嶋・梨本）○個人男子①増田拓馬（浦和）②村田空知（大宮南）③米沢育海（大宮東）○個人女子①村上樹里（大宮南）②浪江朋子（浦和一女）③峯岸真悠（浦和西）○中学生個人①西尾涼佳（市立浦和）②関 萌花（市立浦和）③渡邊楓香（埼玉栄）

●称号者講習会

平成 29 年 1 月 15 日（日）県立武道館弓道場
参加 25 名

講師：岡田義助教士、廣松 弘教士 講習内容：巻藁射礼、立ち射礼の研修、高校生指導について講話

●四段以下講習会

平成 29 年 1 月 21 日（土）県立武道館弓道場
参加 100 名

講師：飯島千代子範士八段、浅子好夫教士、池田浩次教士、竹内せき子教士、清水繁子教士、由岐中美智江教士 講習内容：講話、射技指導、肌脱ぎ、櫛さばき、体配研修

●五段講習会

平成 29 年 1 月 22 日（日）大宮武道館弓道場
参加 32 名

講師：小宮栄子範士、古泉利昭教士、加藤祐子教士 講習内容：一手行射と講評、持ち的射礼研修

●高校生講習会

平成 29 年 2 月 26 日（日）県立武道館弓道場
3 月 11 日（土）大宮公園弓道場 3 月 11 日（日）大宮武道館弓道場 参加 254 名

講師：岡田義助教士、鷹巣光子教士他支部内称号者 36 名 講習内容：審査に向けての体配・射技指導、入退場注意事項の確認等



画・手嶋照晃

西部支部

支部長 池谷 茂

支部長就任にあたり

支部長 池谷 茂

この度、平成 29 年 3 月 26 日「28 年度西部支部評議員会」に於いて前任の森川支部長の後を受け、西部支部長に就任いたしました池谷茂です。初めての大きき大役に不安な気持ちで一杯ではありますが、前任の森川支部長のご助言と新役員の方々に御協力をいただきながら皆様と共に西部支部の更なる発展と躍進に微力ながら努力精進する所存です。

役員は前年度から継続して務めていただく方もいますが、主な役員は次の通りです。

支部長 池谷 茂
副支部長 青田 昇（指導委員長兼務）
副支部長 花井俊則（競技委員長兼務）
理事長 山口友吉（総務委員長兼務）
会計正 加藤憲男
会計副 増田裕子

「28 年度西部支部評議員会」に於いて新年度の行事および予算が決まりました。

平成 29 年度の最初の行事として 4 月 1 日（土）五段・錬士五段対象、4 月 2 日（日）錬士六段以上対象の 2 日間にわたり講師小宮栄子範士のご指導をいただき、西部支部特別講習会を行いました。

前任森川寛人先生は多くの昇段昇格を望んでおられました。今後も引き続き昇段昇格者が増えるように応援していきます。

四段以下の支部講習会につきましても、受講希望者が多い為、前年通り「弐段以下の部」「参・四段の部」と分けて行います。

新年度におきましても支部の行事遂行のため新役員および会員の皆様に引き続き御協力をお願い致します。

「埼玉弓連」諸先生方に今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りたく心よりお願い申し上げます。

<競技・講習会>

●西部支部高校生選手権大会

平成 28 年 11 月 26 日（土）所沢市民武道館
参加 104 名（参加高校 3 校）

○団体の部：①所沢商業高校 B チーム（榎本あ

み・長尾悠可・佐久間優花)②所沢商業高校Hチーム(秋山 航・星 翔太・堀田高広)③所沢商業高校Fチーム(美留町武嗣・岡野大誠・田口大輝)○個人の部:①星 翔太(所沢商業高校)②高橋怜央(所沢北高校)③藤田 陸(所沢北高校)

●納射会

平成28年12月4日(日)所沢市民武道館
参加112名

○三段以下の部 ①濱松晶彦(和光)②成田 忠(三芳)③里見尚美(三芳)○四,五段の部 ①青砥 勤(新座)②簡野肇平(新座)③関口二郎(所沢)○称号の部 ①永島英男(所沢)②花井俊則(三芳)③藤澤和子(富士見)○総合優勝、永島英男(所沢)

●初射会

平成29年1月22日(日)所沢市民武道館
参加127名

①粕谷吉一(所沢)②大島和馬(三芳)③平塚雄一(富士見)

●総会射会

平成29年3月26日(日)所沢市民武道館
参加88名

①池谷 茂(上福岡)②青山くに子(和光)③松崎恭子(所沢)

●中西部指導者特別講習会

平成28年10月30日(日)所沢市民武道館
参加51名

講師:本橋民夫教士、市川政子教士
内容:模範演武(一つの)本橋民夫講師・市川政子講師・池谷茂受講生、一手行射及び全体講評、講話(本橋民夫講師)、入退場・矢番え動作実習、射技指導。

●第5回支部講習会(三・四段/二段以下)

平成29年2月5日(日)

○三・四段:大井弓道場

参加48名

講師:瀧上三郎教士、加藤良子教士
内容:一手行射及び全体講評、射技指導。

○二段以下:三芳町弓道場

参加49名

講師:戸塚藤代教士、青田 昇教士
内容:体配の説明と範示、一手行射、講話、射技指導、全体講評。

●支部高校生春期講習会

平成29年3月28日(火)所沢市民武道館
参加65名

講師:池谷 茂教士、森川寛人教士、山田紀之教士
内容:執弓の姿勢、入退場、歩行、礼、揖、矢番え動作の実習、一手行射、射技指導、全体講評。

●支部特別講習会

平成29年4月1日(土)・2日(日)所沢市民武道館 参加65名

講師:小宮栄子範士

内容:五段・錬士五段 持的射礼および肌脱ぎ襷がけ実習、個人指導および講話、全体講評。錬士六段以上 受講生による矢渡し及び受講生による講評、一つの射礼(2人、3人、4人)及び射技指導、全体講評。

●第1回支部講習会(三・四段/二段以下)

平成29年4月9日(日)

○三・四段:三芳町道場

参加57名

講師:浅野有三教士、吉本かをる教士

内容:一手行射及び全体講評、射技指導。

○二段以下:朝霞市弓道場

参加54名

講師:市川政子教士、花井俊則教士

内容:体配の説明と範示、一手行射、射技指導、全体講評。

編集後記

今年は県連及び各支部での役員改選時期でした。県連では4月23日の評議員会を経て本橋会長の二期目がスタートし、いくつかの支部では支部長が交代し、新体制で船出されました。

「埼弓連だより」編集部においても委員の交代がありましたのでご報告いたします。

編集委員長 高橋久雄(熊谷)
編集委員 那須充良(東松山)
宮澤梢枝(川口)
大塚経子(大宮)

編集委員長は、千葉公先生から私(高橋)が引き継ぎました。この59号の発行には、新メンバーも引継ぎを兼ねて参画しましたが、今まで窺い知ることのなかった編集委員の苦労がヒシヒシと伝わってきました。

初めての編集会議など戸惑うことばかりで不安が残っていますが、我々も頑張らねばと思いを新たにしました。

今後の発行にあたっては、会員の皆様や県連役員の先生方のご協力をいただきながら取り組んでいきたいと思っております。また、昨年おこなったアンケートの結果を踏まえ、よりよい紙面づくりができるよう努めたいと思っております。

新しい編集委員をよろしくご願ひいたします。

編集委員長 高橋久雄

中 部 支 部

支部長 鷗田 富男

弓道懐旧談 新連載！

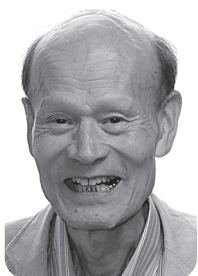
支部長 鷗田 富男

玉之内先生にかわり内河先生の弓道懐旧談の連載を開始します。

弓道懐旧談 新連載 1

弓道並びに梶田君との出会い

川越市弓道連盟 内河 輝臣



昭和 49 年 4 月、川越高校に転勤と同時に弓道部の顧問を命じられた。弓道は全くの未経験だからと辞退したが、ベテランの顧問がいるのでと説き伏せられて引き受けたものの、初めて弓道場に足を踏み入れたときの不安と心細い心境は今でも忘れることができない。

これを機に自分でも弓道をやってみようと覚悟を決め、3年生の部長に教わりながら、とりあえず弓具を持たずに射法八節の「弓道体操」を始めたのが弓道人生のスタートとなった。

このとき折よく、市広報に弓道教室募集案内が掲載されたので迷わず申込み、5月中頃からは専らその教室の指導を熱心に受け、7月末に終了すると同時に川越市弓道連盟に入会した。

そして何とこの年に、ノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章君が川越高校に入学し、弓道部に入部してきた。

しかし、弓道初心者であった私には、梶田君をはじめ新入部員達に指導らしいことは何もしてやることができなかったが、卒業まで顧問として3年間つきあった最初の学年だったので今でも特別の感慨がある。

梶田君は非常に練習熱心だったので、県大会をはじめいろいろな対外試合にはつねにレギュラー選手として出場していた。彼に関して一番印象に残っているのは、入学当初はまだあどけなさが残った小柄な少年という印象だったのが、3年の卒業までに身長が十数センチも伸びて、たくましい青年という感じになったことである。

高校時代の梶田君はとても穏やかで控えめな性格で、凡そガリ勉タイプとはほど遠く、勉強もずば抜けてよくできる方ではなかった。そのような、いわば弓大好きな弓道少年が人間としても大きく成長し、ノーベル賞受賞という快挙を成し遂げたことが何より素晴らしい。

研究者の道に進もうと決めたのは、埼玉大学で弓道部副主将を務めていた3年の時と伺ったが、その後は黙々と地道な努力を積み重ね、研究者としての並々ならぬ苦勞と困難を乗り越えての成果と推察される。

梶田君の更なる活躍と発展を祈りつつ、弓道並びに梶田君との出会いに感謝して筆を擱く。

<競技・講習会>

●第 10 回みのり会 (60 歳以上)

平成 28 年 10 月 4 日 (火) 日高アリーナ弓道場 参加 63 名

□入賞者①国分菊雄 (日高)②古川弘明 (狭山)③坂東富士夫 (毛呂山)

●支部納射会

平成 28 年 12 月 11 日 (日) 日高アリーナ弓道場 参加 104 名

□四段以下①齋藤顕一 (坂戸)②島田 勲 (小川)③田中廣子 (坂戸)

□五段以上①市川政子 (入間)②下田逞次 (入間)③国分菊雄 (日高)

●支部初射会 兼 昇段・昇格者祝射会

平成 29 年 1 月 15 日 (日) 日高アリーナ弓道場 参加 116 名

□昇段・昇格者 10 名
□入賞者①田中 修 (鶴ヶ島)②齋藤顕一 (坂戸)③野中和弘 (坂戸)

●支部評議員会射会

平成 29 年 3 月 26 日 (日) 川越運動公園弓道場 参加 47 名

□入賞者①沼倉光広 (日高)②五十嵐好夫 (入間)③大塚幹雄 (狭山)

●第 3 回支部講習会 (四段以下)

平成 28 年 9 月 3 日 (土) 川越運動公園弓道場 参加 43 名

講師：玉之内淳、鷗田富男、水岡 勇 各先生

●支部特別講習会 (称号者)

平成 28 年 9 月 24 日 (土) 入間市武道館弓道場 参加 24 名

講師：松沢 岳、市川政子、玉之内淳 各先生

●女子講習会

平成 28 年 10 月 1 日 (土) 日高アリーナ弓道場 参加 30 名

講師：市川政子先生

●第 21 回中部・西部指導者講習会

平成 28 年 10 月 30 日 (日) 所沢市民武道館弓道場 参加 46 名

講師：本橋民夫、市川政子 各先生

●第 4 回支部講習会 (四段以下)

平成 29 年 2 月 5 日 (日) 入間市武道館弓道場 参加 56 名

講師：玉之内淳、鷗田富男、水岡 勇 各先生

[特別掲載]

こんなことが『セクハラ』として受け取られ、苦情が寄せられています

範士八段 小宮 栄子

埼玉連だより第44号(平成21年10月発行)に掲載された、当時指導委員長の小宮先生の記事を転載します。

●男性の指導者に対して

・胸を触った・抱きついた・脇に手を入れた・腰に手を回した・袴の中に手を入れた等々。

●女性の指導者に対して

『セクハラ』としての苦情はありません。

●指導をしておられる皆さん

・一生懸命のあまり、過剰な指導は禁物です。
・指導の中で直に体に触れる場合は、了解を得てからにし、むやみに手先は使わない工夫をして指導しましょう。特に下半身は厳禁です。また、行射中には不意に手を出さないよう気を付けましょう。
・「キモイ」「エッチ」な先生と思われまいよう、身边を清潔にしましょう。

●指導を受ける皆さん

・稽古着の中も下着をきちんと着け、脇の下など直に素肌を見せないよう、着付けにも十分注意しましょう。
・止むを得ず肌に触れる指導もあることを理解して欲しいと思います。

ただし、いやと感じたときは、自分の意見をはっきり伝えて、誤解のないように話し合ってください。

【さて】

今まで県内で行った「初心者教室指導者講習会」の中で、私が担当した講義は「セクハラ」についてでした。この問題は議題としてはなかなか話しづらく、誤解され易いこともあり、苦勞致しました。他のスポーツでも時折新聞紙上で見ることがある『セクハラ』ですが、水面下では数多く、問題視されています。

【では】

弓道ではどうでしょうか？初心者の指導では、普段手にしたことのない弓や楯を使用するため、手を触れたり、添えてやったりしながら使い方を指導し、弓をひくための骨の組み合わせや、

筋力の使い方は、関節をつかんだり、押さえたりして知ってもらうこともあります。

また、体の構えも、弓に対して逃げないように正対してもらうために、肩や腰、肘、膝等言葉の指導では伝わらないものを、手を出して矯正したりしています。

弓の指導は口だけでは伝えられなくて、また、指導者がやって見せても身体の中の働きまでは見せることが出来ず大変です。

そんなとき、やはり体に触れて方向を理解し感じてもらうようにしなければなりません。

指導する側も指導を受ける側も、お互いの信頼関係が成り立たなければ、「触った!」「触らない!」と感情的になり、気まづくなったりすることになるでしょう。

最近の生活環境の中では、親兄弟であっても、肌と肌との触れ合いは希薄になっています。個々の部屋を持ち、風呂は一人、布団やベッドも個人々々です。

昔は兄弟ゴロ寝で、寝返りすれば体の接触も平気でいた時代もありましたが、そうではなくなってきています。

触らずに口だけで上手く指導が受け入れられ上達してもらえれば問題はないのですが、どうでしょうか？

素直に理解が得られるためには、どんな指導が良いのか？

工夫をしながら試行錯誤の現状です。

【世の中は男と女?】

しかし、弓道は男も女もなく、原則的に全ての動作は同じに行います。(肌ぬぎや襷がけは別)男性が女性を指導する。また、女性が男性を指導する。人によっては敏感な人も、おおらかな人もいます。変な感じ方をされてしまうと指導は成り立ちません。

【繰り返しになりますが】

止むを得ず肌に触れる指導もあることを理解して欲しいと思います。

しかし、嫌と感じたときは、自分の意見をはっきり伝えて、誤解のないように話し合ってください。

老若男女、長く弓道を楽しんでいただくために、お互いの理解と、ご協力をお願い申し上げます。

孟子五倫の教え

1. 父子有親（親愛）
2. 君臣有義（義理・忠義）
3. 夫婦有利（礼）
4. 長幼有序（秩序）
5. 朋友有信（信義）

親愛とは 人に親しみを感じ、愛情をい
ていること。

義理とは 物事の正しい筋道

忠義とは まごころ、誠意をもって仕える

礼とは 社会の秩序を保つための生活
規範（模範・規則）の総称

秩序とは 社会の規則立った関係

信義とは 約束を守り、務めを果たす

*仁について（性善説）孟子が唱えた
人の本性は善なり

1. 仁とは 一人+二で2人が対等に相親し
むことを示す。
2. 自分と同じ仲間としてすべての人に接する
心隣人愛や同情の気持ち またはそのよ
うな気持ちを持つこと
仁なるものは人を愛す

五倫の教え

1. 親子の関係は親愛をもととする
2. 君臣の関係は義理をもととし
3. 夫婦の関係は礼をもととし
4. 長幼の関係は秩序をもととし
5. 朋友の関係は信義をもととしなければ
ならない
なお、夫婦和するためには
一定の礼と云うけはじめが必要である。

長幼の序とは

- (1) 長幼とは、
一般的に大人と子供・年上と年下・先
輩と後輩
また社会的には（会社・学校・軍隊・
組織）目上と目下・上士と下士と兵
組織としては、先に入った人、後から
入った人、年齢差でない。
- (2) 序とは、順序・序列、秩序

注意したいこと

「上司・先輩をたてる」の心得を持つ

- a. 後輩であっても努力次第で先輩との地位
が逆転の事もある。その場合に公式では
（審査・講習）上席に入る事も多いが、
非公式の場合は先輩を立てる。
- b. また、注意すべきことがあった時、新任
者と先輩、高齢者に対する言葉の使い方
に注意する。
- c. 新人の注意すべき事として
稽古を見る時、姿勢を崩さない。正しい
姿勢を保つ。
高齢者の動きに注意。手助けもあり得る。
履物棚の使用、ロッカー（更衣）の使用
の際は、使い易いところは先輩に譲り、
下段・コーナーを利用する。

